

氏家小学校

学校運営協議会だより



令和7年11月7日 氏家小学校学校運営協議会

第2回学校運営協議会を行いました

10月31日(木)に、今年度第2回目の学校運営協議会を、氏家小学校図書室において行いました。

2校時の授業参観では、どの学年も落ち着いた授業態度で真剣に学習に取り組んでいたり、学び合いの中で活発に意見を述べたりしている姿が印象的でした。また、授業の中でICTを活用し、タブレットが効果的に使われている様子も見ることができました。

授業中の子どもたちの笑顔や仲良く話し合っている姿を見て、先生方のご指導の賜物と感心いたしました。



★1学期の取組・自己評価について説明がありました

まず、黒田校長先生から1学期の取組について説明があり、学校教育目標「よく考える子・なかよくする子・体をきたえる子」の達成に向けて、「みんなでつくる みんなの氏家小学校」を合言葉に「すべての子どもが輝く学校」を目指して様々な教育活動に取り組んでいることがわかりました。SUNさんサポート隊や地域、関係機関と連携・協力をしながら、教育活動がさらに充実するように取り組んでいる様子についてもうかがうことができました。

次に、石塚教頭先生から教職員の方々が行った自己評価の結果と2学期に向けての改善策について説明がありました。2学期に向けて、示された改善策をぜひ、子どもたちのために実践していくことを期待しています。

学校運営協議会としても連携・協働して参ります。



◆熟議【今年度の取組について（今後の活動の確認）】

- ・読書活動の推進
- ・下校の見守り

今年度の取組について熟議を行い、今後に向けて、実践していくための課題や方策を様々な視点から検討しました。

読書活動の推進について

- ・学校では、図書室での読書イベントや、すき間読書など本に触れる機会を工夫して増やしているので、それを継続する。
- ・学校運営協議会委員も子どもたちに「おすすめの本」を伝える。
- ・先生方も「おすすめの本」を提案する。担任のおすすめの本を、学級全員で読み回しするはどうか。
- ・児童が読みたい本のリクエストをして、購入できるようにする。
- ・図書室まで来なくても読書ができる場所があるとよいのではないか。リラックスして読めるスペースがあるとよい。
- ・アリスの会の読み聞かせの際に、学校運営協議会委員も読み聞かせを一緒に行う。

下校の見守りについて

- ・下校時のトラブルが多い。用水路に近づく、石を投げる、道路をはみ出す、縁石の上を歩くなどの危険な行為や、体調不良で歩けなくなる、転んでの怪我、下校途中の家へのいたずらなど、指導や対応が必要となることが毎日のように起きているので、下校の見守りは大変ありがたい。
- ・チラシを発行して、「ながら見守り」を地域にお願いしたが、現在9名の方に協力をいたいている。学校運営協議会委員も、「ながら見守り」を実施していく。

【授業や児童の様子を参観して】

- ・子どもたちが一生懸命学習に向かっている姿が見られた。タブレットも効果的に活用されている。
- ・一人一人に合わせて、きめ細やかに配慮、支援されている。
- ・中学生がよく挨拶できているが、小学校からの指導で習慣づいている。地域の方も挨拶をされて、うれしい気持ちになっている。
- ・算数の授業で、先生が丸つけと支援の同時進行で大変な場面が見られた。高学年は、児童が自分で丸つけをして進められるようにしてもよいのではないか。
- ・子どもの聞く力は未熟なので、ゆっくり話すことが大切。先生が何を言ったかを確認してから、児童に答えさせるようにするとよい。
- ・当番係と係活動の違いについて。高学年は、創意工夫した係の方が意欲が高まる。
- ・1分間スピーチや、キーワードを与えての作文などで、話す力、書く力を高めるとよい。

★次回、第3回学校運営協議会は、令和8年2月20日（金）の予定です。